

## 音読

今回の学習のポイント

- ① スムーズな音読のために
- ② 句読点を意識して読む

### スムーズな音読のために

「音読」は、声に出して文章を読む行為です。小中学校までの授業などでも、だれもが経験してきていることでしょう。今回の学習では、音読の練習を通じて、聞き手にとってわかりやすい音読、スムーズな音読のポイントについて理解していきましょう。

#### 一、語句や文、文章の意味を理解すること

まず、並んでいる「字」を、ただ音にするのではなく、意味のある「語句」「文」を読むのだということを意識しましょう。読む言葉一つ一つの意味を理解して読むのと、そうでないのでは、言葉の発し方も変わってきます。漢字の読み方などを知っておくことはもちろん、たくさんの言葉の意味を、知識としてたくわえておくことも、音読する際には武器になります。

#### 二、速さに注意すること

「相手、第三者に読み聞かせる」という場合には、聞く人がわかりやすいかどうかということがポイントです。そのため、「読む速さ」に注意することは大切です。聞き手を意識しないと速くなってしまったり、読み慣れない言葉が出てくると、言いよどんでしまったり、聞き取りにくく不安定な音読になることがあります。聞きやすい適切な速さで読むことを心がけましょう。

#### 三、適切に区切ること

一文が長くなってくると、一気に同じ調子で読み通すことは難しくなります。むしろそうすることは、読み手にとっても聞き手にとっても意味を把握しにくくする要因です。一定の意味のかたまりを意識して読む、つまり、適切な位置で区切りながら（間を置きながら）読んでいくということが非常に重要です。

国語監修・執筆

中澤匠吾

## 句読点を意識して読む

文に記されている句点「。」や読点「、」（あわせて句読点という）は、音読する際の区切りの目安にもなっています。読点で区切ることを意識して読んでみましょう。

### 【発展】

次の文を読んだとき、どんな意味になるでしょうか。

「すぐに私は自転車に乗って逃げていく泥棒を追いかけた。」



この文に、次のA、Bのように読点を付けてみます。

A 「すぐに私は自転車に乗って、逃げていく泥棒を追いかけた。」

B 「すぐに私は、自転車に乗って逃げていく泥棒を追いかけた。」



読点にしたがって、区切って読んでみると、

A 「私が自転車に乗って、泥棒を追いかけた」という意味

B 「泥棒が自転車に乗って、逃げていった」という意味  
になることがわかります。

このように、同じ文でも読点の位置によって異なる意味を表すようなことがあり、場合によっては誤解して伝わることもあり得ます。どこで区切って読むのかをしっかりと意識することは、正しく伝えることにもつながるのです。

## まとめ

言葉の意味を理解し、意味のまとまりをとらえて適切な速さで読むことが、聞き手の理解やわかりやすさにつながります。ほかにも、声の抑揚、高低など注意していくべき点がありますが、まずは今回学ぶ基本となるポイントをおさえておきましょう。

実際にさまざまな文を音読してみましょう。書かれている内容をより深く理解することができるようになると思います。また、集中力のアップにも効果的です。

